

若者はなぜ農村をめざすのか ～人と自然の境界での文化創造～

“人間は自然の中でしか生きられない”ということは自明の理である。

しかしながら、高度に経済社会が発展する中で人間はその「理(ことわり)」を忘れてしまっている。エネルギーや地球温暖化の問題、食糧や森林の自給率の問題、農山村の荒廃の問題など、私たちを取り巻く様々な環境の問題の根本的な原因は同じところから発生している。

こうした中で今、農村への移住をめざす若者が増えている。

それはなぜなのだろうか。

「文化創造」という切り口から、人と自然の境界にある里山や農村の意義を考える。

- 日時 平成27年 **11**月**6**日(金)
14:50~16:20
- 会場 和歌山大学システム工学部A棟103室
和歌山市栄谷930 (和歌山大学栄谷団地)
- 講演者 京都府立大学
文学部歴史学科共同研究員・非常勤講師
奥谷 三穂 様

案内図



入場無料
申込み不要

どなたでも参加できます。
奮ってご参加ください。

主催
お問い合わせ

和歌山大学環境管理委員会
和歌山大学環境管理委員会事務局(施設整備課内)
TEL 073-457-7071